

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和06年06月11日(火)

事務事業		道路維持管理事業		担当課	道路管理課	担当係	道路・橋りょう維持係	管理番号	48211	
総合計画	大項目	5	快適で利便性の高いまち	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務					
	中項目	2	交通アクセスの便利なまちづくり	根拠法令 個別計画等	道路法					
	小項目	1	道路・交通環境整備の推進							
	主要プロジェクト									
事業概要		市道の安全を確保するため、路面や構造物の修繕を行うとともに、排水施設や街路樹の維持管理を行う事業である。								
目的 ※何のために		安全かつ快適に通行できる道路空間を確保するため								
対象 ※誰・何を対象に		市道の舗装、排水施設その他道路施設								
手段 ※どのように		点検、調査、設計、補修等を行う								
成果 ※何を求めるか		道路機能を維持し、事故を未然に防ぐ								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他()								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額(円)		
		一般会計	8	土木費	2	道路橋りょう費	1	道路維持費	道路維持管理事業	475,460,795
		一般会計	8	土木費	2	道路橋りょう費	1	道路維持費	遊歩道維持管理事業	44,084,853
本事業の 主な業務		・道路維持修繕工事				・道路側溝蓋、穴埋め用合材、切込碎石の購入				
		・道路の緊急修繕				・道路側溝蓋掛け工事				
		・植栽管理業務				・簡易補修				
		・側溝土砂収集運搬処分業務				・凍結防止剤の散布作業				
		・道路パトロール				・資材の調達及び機材の貸出				
		・災害時の復旧対応				・トイレ清掃業務				

2. 事業費(投入コスト)

単位: 円

区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別計画		道路維持修繕工事 植栽管理・除草業務	道路維持修繕工事 植栽管理・除草業務 高畑地内冠水対策工事	道路維持修繕工事 植栽管理・除草業務			
事業費	予算(現額)	491,937,000	571,027,000	567,095,000	766,209,000		
	決算額	458,166,284	519,545,648	0	0		
	財源内訳	国支出金	0	0	0		
		県支出金	0	0	0		
		地方債	0	62,200,000	81,600,000	119,800,000	
		他特定財源	0	0	0		
	一般財源	458,166,284	457,345,648	485,495,000	646,409,000		
人件費	従事職員数(人)	6.65	6.32	6.32	6.32		
	人件費相当試算※	52,332,555.00	50,624,243.00	52,840,888.00	52,840,888.00		
総事業費試算		510,498,839	570,169,891	619,935,888	819,049,888		

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
実績値の算出式										
活動指標 1	舗装修繕工事施工延長		目標値	km	1.10	1.10	1.24	1.48	1.14	1.26
			実績値		1.50	1.63				
	目標値の算定根拠/実績値の出所			令和4年度以降は深谷市舗装修繕計画に基づき老朽化路線を定め目標値を設定している。						
	実績値の算出式									
成果指標 1	道路維持管理上の事故件数		目標値	件	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			実績値		2.00	3.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所			管理上の事故は、常に発生しないようにしている。 / 申請された件数						
	実績値の算出式									
成果指標 2	道路維持管理上の苦情件数		目標値	件	863.00	845.00	828.00	811.00	794.00	778.00
			実績値		899.00	897.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所			R3年度より2％程度の削減目標としている。 / 当該年度実績						
	実績値の算出式									
			目標値							
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
			目標値							
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
			目標値							
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	目標値を0.53km上回り、また、予定された箇所は全て工事を実施することができた。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	C	道路管理瑕疵は道路の穴だけではなく事故原因の多様性が見られることもあり、0件にはできなかった。苦情件数は舗装の老朽化に係るものや排水等の道路管理全般のほか、小山川ウオーク&サイクルロードを始め除草等の苦情が多いが、天候などに大きく左右される。このような状況から目標達成には至らなかったものの、ほぼ全ての案件に迅速に対応できた。
			評価者 道路・橋りょう維持係長 佐藤 真也

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	B	道路環境に関して市民から寄せられる苦情内容は年々着眼点が厳しくなり、細かな点も通報を受ける状況となっている。こうした苦情に対して、あらかじめ保有する資機材を用いて1件ずつ丁寧に対応しているものの、道路管理瑕疵案件を0件にすることができなかった。事故や破損を未然に防ぐため、効率的な道路の維持管理を行っていくことで苦情件数や道路管理瑕疵案件の減少を目指す。
			評価者 道路・橋りょう維持係長 佐藤 真也

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和4年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	予防保全型・事後保全型を効率よく組み合わせることで、道路の経済的な維持管理の実現に努める。
達成状況及び その効果	苦情件数は前年度と同程度となり、道路管理瑕疵案件は前年度に比べ1件の増となった。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	道路維持管理事業	担当課	道路管理課	担当係	道路・橋りょう維持係	管理番号	48211
<div>■ ①拡充, 重点化(コスト投入)</div> <div><input type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div> <div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div> <div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div> <div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div>		評価の内容説明					
		維持管理上の事故が3件発生し、苦情件数は目標に達しなかった。前年度同様、苦情件数が多い背景には、これまで多くの道路改良や舗装新設を行ってきたものが経年等により老朽化していることが原因と思われる。こうしたことから、市民意識の変化も注視しながら既存事業の拡充を行いつつ、予防保全型の管理を組み入れて、道路の修繕等をより迅速に実施することが課題となっている。また、小山川ウオーク&サイクルロードについては、これまで業務委託、直営、ボランティアにて県の除草と調整しながら取り組んできたが、実施時期が相互に近接する等、効率のかつ効果的な実施に課題が残る。このような状況を踏まえ、苦情や事故に対して適切な処理・対応を行う必要があるため、拡充、重点化とするものである。					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	道路管理課長 宮下 昌規				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和6年度に実施する 改善・改革案 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	市民からの情報提供やパトロールにより破損箇所を確認した際、速やかに修繕を行う従来の事後保全型維持管理と、令和2年度に主要幹線道路を主に対象とし策定した深谷市舗装修繕計画（個別施設計画）を基にした予防保全型維持管理を加え、効率的に維持管理を行うことで苦情件数や道路管理瑕疵案件の減少を目指す。
令和7年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	舗装については、今後、修繕計画を更新し、これに基づきより一層の予防保全型管理の実現を目指す。また、小山川ウオーク&サイクルロードの除草については、専門業者による効率のかつ効果的な実施・運営を図る。

8. 評価指標グラフ

